

第 208 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 5 年 4 月 27 日（木）10:00～11:00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や拡がりの状況等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<その他報告事項>

- ◇ 総括情報部より、ゴールデンウィークにおける感染対策について報告があった。
- ◇ 総括情報部より、沖縄県における新型コロナウイルス新規陽性者数の順位の推移について報告があった。

1 参加者

玉城 知事、池田 副知事、島袋 政策調整監、溜 知事公室長、
森田 総務統括監、金城 企画部長、多良間 環境部長、
宮平 子ども生活福祉部長、糸数 保健医療部長、田代 農政企画統括監、
松永 商工労働部長、宮城 文化観光スポーツ部長、名城 土木企画統括監、
名渡山 会計管理者、松田 企業局長、本竹 病院事業局長、山田 教育管理統括監、
大濱 警備第二課長 宮里 感染対策統括監、
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について【資料 1～6】

- 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。
 - ✓ 病床使用率は4/12から一桁台で推移していたが、4/25は11.3%、4/26は11.9%と10%台で推移している。
 - ✓ 重症者用病床使用率は、4/20までは0%であったが、4/21以降は一桁台で推移している。
 - ✓ 前週比は4/5から1を上回っており、4/17には1.71と高い数値となっている。現在は1.2台での推移となっている。

- ✓ 新規陽性者数は 4/12 が 144 人、4/19 が 188 人、4/26 が 248 人となっている。
- ✓ 入院中の患者は 4/12 が 29 人、4/19 が 49 人、4/26 が 77 人となっている。
- ✓ 全国の「直近一週間の人口 10 万人当たり新規陽性者数」では、多い順で富山県、北海道、石川県となっており、沖縄県はそれに次ぐ 4 位となっている。
- ✓ 年代別新規陽性者数（7 日間移動合計）の推移では、2 月下旬から 4 月上旬は横ばいで推移していたが、4 月中旬からは各年代とも上昇傾向となっている。一番多いのが 30 代、次いで 40 代、10 代、50 代となっている。前週比については、70 代以外で 1 を超える状況が続いている。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限について、4/26 時点で 96 人の休業者となっている。内訳は看護師が 48 人、コメディカル・事務職員等が 41 人、医師が 7 人となっている。
- ✓ 宿泊療養施設及び搬送車両稼働の報告について、ソルヴィータホテル那覇は 4/15 より休止となっている。備考欄にあるように全ての施設を 5 月末で返還するよう準備を進めている。
- ✓ ワクチン接種状況について、4/27 時点で 1、2 回目接種率は 70%台となっている。令和 4 年秋開始接種については、28.1%、となっており、65 歳以上に限れば 59.9%となっている。
- ✓ 令和 5 年度の接種について、法的位置づけについては 1 年間、特例臨時接種の実施期間を延長することとなっており、自己負担なく接種が受けられる。接種体制については、国の考え方として短期間で集中的に接種を促進するような状況は見込まれず、個別医療機関を中心とする体制への移行を進めることが適当となっている。
- ✓ 接種スケジュールについて、初回接種は生後 6 か月以上の全ての者に対し、引き続き従来型ワクチンで接種を実施。追加接種は令和 4 年秋開始接種については 5/7 までとなっている。令和 5 年度の接種について、春開始は 5/8 から 8 月

末までを予定。対象者は 65 歳以上の高齢者、5 歳以上の基礎疾患を有する者等、医療従事者や高齢者施設等の従事者となっている。65 歳以上の高齢者については接種勧奨や努力義務などの公的関与がある。ワクチンはオミクロン株対応ワクチン、ノババックスを予定している。秋開始接種は 5/9 から 12 月末までを予定。対象者は 5 歳以上の初回接種を受けた全ての者となっている。65 歳以上の高齢者は公的関与がある。ワクチンの種類は未定となっている。

- ✓ 4/24 時点の沖縄県年代別接種率について、令和 4 年秋開始接種の接種率は 70 代以上では 5～6 割以上の接種率となっている。それ以下の年代では 5 割を下回る接種率となっており、若い年代ほど接種率が低い状況が続いている。

(2) 県立病院の状況について

➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 4/26 時点の県立病院の入院患者は 11 人で前回報告より 3 人増。県立病院が現在確保しているコロナ病床の稼働率は 23.4%となっている。
- ✓ 非コロナ病床稼働率は徐々に増えてきているが、重症患者はいない。

(3) 宮古・八重山地域の感染状況について

➤ 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。

- ✓ 今週の陽性者は 8 人で、前週比が 2.0 となっており 2 週連続で前週比が増加しているが、昨年と比べると低い状況が続いている。人口 10 万人当たりで見ると 14 程度で低い状況ではあるが増えつつある。
- ✓ 療養者数は 7 人、入院者数は 1 人となっている。
- ✓ 宿泊施設療養者が 1 人、自宅療養者が 4 人、施設内療養者が 1 人となっており 1 か月以上ぶりに施設内療養者が発生した。
- ✓ 高齢者施設等の発生状況について、2 施設からの陽性報告があった。

- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山圏域では前週比は1を下回っているが、1日当たり1～2人ほどコンスタントに新規陽性者が出ている。年齢階級別で見ると30代・40代が多くを占めており、ここ2週間では65歳以上が増加している。
 - ✓ 小規模離島での4月以降の届出患者数について、竹富町で3人、内2人は入院している。小規模離島からの移送については4月に入って2件発生している。観光の繁忙期に入っており、船舶がチャーター出来ないため定期便で移送している。
 - ✓ クラスタについて、2月以降は発生していない。
 - ✓ 宿泊療養施設については4/27現在は0人。
 - ✓ インフルエンザについては、15週から注意報が解除され落ち着きを取り戻している。
 - ✓ ゴールデンウィークの体制はオンコールでの対応を予定している。

(4) 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCA等の状況【資料8】

- 文化観光スポーツ部より報告
 - ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、4/17の週の検査数は241人。対前週比は25人の減。内訳として、県内在住者が227人、県外在住者が14人。陽性者は4人となっている。
 - ✓ 那覇空港抗原検査について、検査数は203人。対前週比は13人の増。内訳として、県内在住者が81人、県外在住者が122人。陽性者は0人。
 - ✓ TACOについて、4/17の週の電話対応件数は13人で、うち健康相談は3人となっている。ほとんどが全国旅行支援の陰性証明等の要件に係る内容となっている。

(5) 質疑応答

- ✓ 人口 10 万人当たりの新規陽性者の推移について、4 月から全国順位が上昇している。国内での立ち位置という観点で見ると、春休みで陽性者の増加が見られたという認識に立つべきではないか。その上でゴールデンウィークに注意を呼びかける必要がある。
→順位が上昇していることについてはしっかり県民にお伝えしていく。例年、ゴールデンウィークで感染が拡大しているため本日の知事コメントを通して連休前に啓発していく。
- ✓ 宿泊療養者について、5/8 以降の処遇についてはどうなるのか。
→5/8 以降は法的位置づけが変わるため、なるべく人にうつさないよう自宅や本人が確保した場所で療養していただく。高齢者に関しては、医療ひっ迫に繋がる恐れがあるため、別途施設を準備することを検討している。
- ✓ 空港検査は 5/8 以降は終了となるのか。終了となる場合、受診者に対する案内はどのように行うか。
→空港での PCR 検査は 5/8 以降は終了となる。5/8 以降の検査は市中あるいは離島の PCR 検査場を案内している。ホテル協会、旅行業協会等を通してアナウンスしていく。TACO の案内業務は継続して行う。
- ✓ 旅行支援について、5/8 以降はワクチン接種等の要件はどういう取扱いとなるのか。
→全国旅行支援を受けるためにはワクチン 3 回接種または PCR 検査が要件となっているが、報道機関からはゴールデンウィーク前の 4/30 に要件を解除すると報道されている。観光庁からの発表はないが、近々発表があるのではないかと考える。

3 その他報告事項

(1) ゴールデンウィークにおける感染対策について、沖縄県における新型コロナウイルス新規陽性者数の順位の推移について【その他資料①～②】

➤ 総括情報部より説明

- ✓ その他資料①について、ゴールデンウィークに向けての注意喚起として県民に呼びかけていく。
- ✓ 沖縄県ではこれまでの2年間、ゴールデンウィークの間に感染が広がっている。令和3年は α 株で急速に感染が拡大した。令和4年もゴールデンウィークをきっかけに感染が拡大した。ゴールデンウィークが始まる前の本日に注意喚起を行う。
- ✓ まず、感染が拡大しつつあるという認識を持ってもらうため、グラフを示しながら新規陽性者の増加傾向を説明。ゴールデンウィーク中は、多くの医療機関が休診となることから、救急外来への受診の集中が懸念されるため、軽症の場合や検査目的での救急受診は控えるよう呼びかける。
- ✓ 発熱した場合の備えとして、3日分の食料と抗原検査キット、解熱剤等を準備すること。発熱した際の相談先として、発熱コールセンター、こども医療電話相談を掲載。
- ✓ 3密を避け、換気・手指消毒を行い、少しでも症状がある場合は外出を控えること。風邪症状を認めるときは、1週間程度は高齢者等と会わないことを呼びかける。また、医療機関・高齢者施設や混雑したバスやモノレールに乗車する場合はマスク着用を推奨する。
- ✓ 移動やイベントへの参加について、普段会わない方と交流する移動やイベントなどでは感染リスクが高まることから、体調不良の際には、旅行やイベントの参加を見送ること、イベントに参加する際は、主催者が示す感染対策の要請を守るよう呼びかける。

- ✓ その他資料②について、沖縄県の全国における人口 10 万人当たり新規陽性者数順位の推移について示している。ワースト 1 位の期間が令和 4 年 4 月以降、長らく続いていた。その後、10 月以降は順位が下がっていき、年明け後も沖縄県は低い順位で推移していたが、4 月以降順位が上昇しており、現在は 4 位となっている。こういったデータを示しながら本日の知事コメント等でゴールデンウィークの注意喚起について呼びかけていきたい。

(2) 質疑応答

- ✓ その他資料②について、4 月以降の上昇傾向部分を網掛けして強調してはどうか。
→そのように修正する。

4 その他

(1) 次回の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催について

➤ 総括情報部より説明

- ✓ 5/1 の本部会議について、議題として 5/8 以降の会議体についての提案、5 類移行後の各種対策等となっている。

閉 会